

北九州は初心に帰ることができる大切な場所

通学路だった若戸大橋の下で、学生のころを振り返る

北九州にいた頃について日野さんに伺う。学生時代は毎朝、若戸渡船を使って、今日撮影したあの若戸大橋を見ながら通学していました。1日の全てがこの場所から始まったんです。」と当時を懐かしむ。さらに学生時代はバンドを組んでいて、黒崎の『マーカス』というライブハウスで歌っていました。路上ライブもやっていましたし、友達と小倉駅のトンネルで弾き語りもしていましたね。僕たちLE VELVETSも路上ライブからのスタートでした。今考えると北九州には僕の原点が詰まっているんだなと改めて感じました」と北九州への想いが溢れた。沢山お話しを伺った中で、歌と音楽がいつも人生のターニングポイントに存在する事も印象的だった。北九州市で生まれ育った日野さんは現在、北九州市の観光大使としても活躍している。

「デビュー当時から北九州で歌う機会は頂いていて、若松区役所や門司港のデッキなど色々な場所で歌わせてもらいました。北九州の市政50周年イベントでは、LE VELVETSのメンバーと若戸大橋を歩いて渡りました。そして、昨年11月には地元の方々の応援のおかげもあり、満員の北九州芸術劇場大ホールでコンサートを開催できました。ステージから客席を眺めながら、昔を思い出し目頭が熱くなりました。最後にスターフライヤーでこの記事を読まれている方へメッセージを頂いた。」

「15周年という節目の年ですし、生まれ育った北九州のおかげでここまで成長できました。これからは地元へ少しづつ僕が恩返しする番です。皆様の癒しの目的地まで僕たちの歌声でお連れできるようにそして地元へ貢献したいです。」



LE VELVETS

音大卒、高身長男性4人が奏るヴェルヴェットのようなハーモニー



聴く人を魅了するヴォーカル・グループ

クラシックをベースに、ノンジャンルで歌を表現する「LE VELVETS」

クラシカルクロスオーバーをコンセプトに宮原浩暢、佐賀龍彦、日野真一郎、佐藤隆紀の4人で結成したヴォーカル・グループ「LE VELVETS（ルヴェルヴェッツ）」。全員が音楽大学卒業、さらに身長180センチメートル以上という、経歴、ビジュアル共にインパクト大な彼らのハーモニーは、まさにヴェルベットの生地を彷彿とさせる。またクラシックをベースにロックやポップス、ジャズ、日本民謡と幅広いジャンルの曲を自在に表現し、独自の世界観を創り上げるのも彼らの魅力。また、グループとしての活動だけでなく、メンバー各々がミュージカルをはじめとしたさまざまな舞台に立ち、その技術を磨いている。そんなLE VELVETSで活躍する、日野真一郎さんは北九州市若松区が出身地。

LIVE / EVENT

2023.02.25・26 LIVE 氷上のミュージックアイスショー「Voice Of Soul 2023」@横浜

2023.03.17 LIVE billboard classics 「LE VELVETS 15th ANNIVERSARY Premium Symphonic Concert 2023」@東京



日野真一郎

北九州市出身。武蔵野音楽大学声楽科、同大学院修士課程修了。オーディションで選拔され、LE VELVETSのメンバーとして2008年メジャーデビュー。テノールでありながら、女性の音域まで歌うことができるハイトーンボイスを持ち、ライブでもその声を披露。また、ピアノ、ソプラノサックなどの演奏やダンスなども得意とする。ミュージカルにも多数出演し、ソロコンサートも行う。2015年から北九州市観光大使としても活躍。